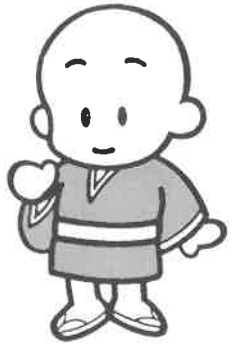


円心くんの



まちの
話 題

今日から小学生なんだよ

町内で二百七人が入学

四月七日(月)、町内の小学校で一斉に入学式が行われました。鞍居小学校では、本年十五人の新一年生が入学。式典では、

「ピカピカの制服も初々しく、上級生の拍手に迎えられ晴れやかに入学し、担任の先生から名前を呼ばれると「ハイ」と大きな返事が返ってきました。校長先生と「交通事故にあわ

ない。友達を大切にする。」と約束を交わし、一人ずつ教科書が手渡されると笑顔もこぼれました。

お祝いや歓迎の言葉が述べられるなか、児童たちは元気いっぱい返事ができ、大きな声で歌も歌えた夢と希望にあふれる入学式となりました。このたび入学された新一年生

は、全員で二百七人(上郡小二十五人、山野里小六十四人、高田小六十人、鞍居小十五人、赤松小二十四人、船坂小十六人、梨ヶ原小三人)です。

皆さん、おめでとうございませう。



入学の思い出に記念写真を撮影(鞍居小)

町内の交通事故防止を願って

春の全国交通安全運動を展開

四月六日から十五日にかけて、「春の全国交通安全運動」が行われました。町内でも各種団体の協力のもと、シートベルトキ

ャンペーンや自転車点検、マスコットの配布などが展開され、ドライバーや歩行者に交通ルールとマナーを守る啓発を行いました。交通安全協会婦人部では、期

間中各幼稚園で交通安全教室を開催。園児たちは、かわいい交通安全啓発ワッペンを付けてもらい、おまわりさんと「交通ルールを守り、絶対に交通事故にあわない」と約束しました。また、高齢者の方々に對しては、相生市と合同で高齢者一輪車、四輪車安全走行競技会を開催。

ふるさと祭りでは山里は大にぎわい

市原で二年に一度の「おしめ祭り」

四月二十日(日)、市原で二年に一度の村まつり「おしめ祭り」が行われ、市街に住む家族や親類、見学者も合わせ約二百人が集まりました。

過疎化が進み、現在八世帯となっている同地区ですが、この日ばかりはたくさんの方が集まり、神事や余興、模擬店にぎわいました。

祭では、祝詞の後に「よーやる、よーやる」の掛け声に合わせ、一反ほどの木綿の白布をぐるぐる回す「おしめ舞」を奉納。



神事の後にはバザーと余興でお楽しみ



一反の木綿をぐるぐる回す「おしめ舞」

大変珍しく、またそのユーモラスな踊りに拍手喝采する楽しい神事でもありました。

引き続き場所を変え、皆さん、腹話術や手品などの余興を楽しみ、うどんや赤飯、お好み焼きなどの手料理に舌鼓をうち、笑い声に包まれた楽しい一日となりました。